

疾患別

全国実力医師  
シリーズ

医療評価ガイド取材班

名  
医  
3  
0  
7  
人

全国

予  
防

最  
新  
治  
療  
&

が  
ん

疾患別に  
実力医師を選び抜く!

この1冊で気になる症状・検査・  
標準治療・治療トピックがわかる

角川SSコミュニケーションズ

●国立がんセンター中央病院 内視鏡部／後藤田卓志 医長 小田一郎 医員	98
●東京大学医学部附属病院 光学医療診療部／藤城光弘 部長	98
●国領めいようクリニック 調布東山病院 消化器内科（非常勤）／濱中久尚 院長	99
●NTT東日本関東病院 消化器内科／大園研 医員	99
●癌研有明病院 消化器外科／福永哲 医長	100
●東京医科歯科大学医学部附属病院 食道・胃外科／小嶋一幸 講師	100
●癌研有明病院 消化器センター／山口俊晴 消化器センター長・消化器外科部長・副院長	101
<b>神奈川県</b>	
●北里大学東病院 消化器疾患治療センター 消化器内科／小泉和二郎 准教授	101
●北里大学東病院 消化器病センター 消化器内科／田邊聡 講師	102
●北里大学病院・北里大学東病院 外科／桜本信一 講師	102
●東海大学医学部附属病院 消化器外科／松井英男 准教授	103
<b>新潟県</b>	
●新潟県立がんセンター新潟病院 外科／梨本篤 臨床部長	103
<b>静岡県</b>	
●静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科／小野裕之 部長	104
<b>愛知県</b>	
●藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 消化器内科／芳野純治 教授・病院長	104
●藤田保健衛生大学病院 消化器外科上部消化管担当／宇山一朗 教授	105
●刈谷豊田総合病院 外科／谷村愼哉 医師	105
<b>滋賀県</b>	
●近江八幡市立総合医療センター 外科／高橋滋 部長	106
<b>大阪府</b>	
●泉大津市立病院 外科・内視鏡外科／永井祐吾 院長代理	106
●大阪大学医学部附属病院 消化器外科／瀧口修司 助教	107
<b>兵庫県</b>	
●兵庫医科大学病院 上部消化管外科／笹子三津留 教授	107
●神戸大学医学部附属病院 消化器内科／森田圭紀 助教	108
<b>広島県</b>	
●広島大学病院 内視鏡診療科／田中信治 教授	108
●広島市立広島市民病院 外科／二宮基樹 外科主任部長	109
<b>愛媛県</b>	
●国立病院機構四国がんセンター 消化器外科／栗田啓 統括診療部長	109
<b>福岡県</b>	
●国立病院機構九州がんセンター 消化器外科／坂口善久 副部長	110
<b>佐賀県</b>	
●佐賀大学医学部附属病院 一般・消化器外科／能城浩和 准教授	110

### Ⅲ 大腸がんⅢ —— 実力医師34人 111

<b>北海道</b>	
●KKR札幌医療センター斗南病院 外科／北城秀司 科長	112
<b>岩手県</b>	
●岩手医科大学附属病院 外科／大塚幸喜 講師	112
<b>宮城県</b>	
●仙台オープン病院 消化器外科・一般外科／内藤剛 副部長	113
<b>栃木県</b>	
●自治医科大学附属病院 消化器内科／山本博徳 教授	113
<b>埼玉県</b>	







## 順天堂大学医学部附属浦安病院 外科

## 福永 正氣 教授



福永正氣教授

千葉県浦安市富岡2-1-1  
TEL: 047-353-3111  
最寄りの駅/JR京葉線新浦安駅、徒歩10分

## Profile

ふくなが・まさき。1951年千葉県生まれ。順天堂大学医学部卒。順天堂大学浦安病院准教授を経て、2008年から現職。日本内視鏡外科学会評議員・倫理委員・技術審査委員・技術認定医。

## Staff

菅野雅彦准教授・永坂邦彦講師・吉川征一郎助教 ほか

## 実績・成績

科の年間症例数962例（総手術数）。胃がん81例（腹腔鏡32例）、大腸がん158例（腹腔鏡142例）。大腸がんの5年無再発生存率はステージ0 100%、I 100%、II 98%、IIIa 83%、IIIb 75%。

## 外来診療日

火曜（8:00～11:00）

## 治療 腹腔鏡下手術でトップレベルの技術

福永教授は、腹腔鏡下手術の黎明期からこの術式を積極的に導入し、患者にとって負担の少ない、安全な手術の確立をめざしている。現在までに、消化管に対する腹腔鏡下手術の累積症例数は2000例以上と、国内でトップレベルの症例数と経験である。日本内視鏡外科学会技術認定医で、腹腔鏡下手術を修得したいと願う若い医師の指導者としての役割も担っている。

同教授は、日本内視鏡外科学会の技術認定医である。腹腔鏡手術を90年代前半から、いち早く着手し、現在まで大腸に対する腹腔鏡下手術を1500例以上、大腸がんには1000例以上の症例に携わり、特に直腸がんに対して積極的に適応している。腹腔鏡下手術の指導的立場でトレーニングセミナーや研修医の受け入れを積極的に行っている。

また、同科は、技術認定医が4人在籍して、その他の疾患にも積極的に腹腔鏡下手術を施行している。

## 藤井隆広クリニック

## 藤井 隆広 院長



藤井隆広院長

東京都中央区銀座4-13-11  
銀座M&Sビル7F  
TEL: 03-3544-6266  
最寄りの駅/東京メトロ日比谷線東銀座駅、徒歩1分

## Profile

ふじい・たかひろ。1957年福井県生まれ。金沢医科大学卒。95年英国リーズ大学病院で内視鏡指導。98年国立がんセンター中央病院内視鏡部消化器科医長を経て、2003年同クリニック開業。

## Staff

看護師5人・事務員6人

## 実績・成績

上部内視鏡検査数1382人/早期がん9例、進行がん2例（2008年）。  
下部内視鏡検査数1527人/早期がん31例、進行がん7例（08年）。

## 外来診療日

月・火・木・金曜は、外来と検査（10:00～12:00、15:00～16:30）土曜は検査のみ

## 治療 安心で安全な日帰り手術を実践

藤井院長は、欧米人には少ないといわれた陥凹型大腸がんを英国リーズ大学病院で発見、陥凹型大腸がんの発生率に人種差がないことを証明するなど、診断力の高さに定評あり。個人クリニックながら拡大内視鏡とNBIIによる特殊光観察を駆使し、ポリープの種類や深達度を的確に判定。大腸早期がんの内視鏡治療を行い、日帰り手術も可能。

同院長は、大腸の病変を100倍まで拡大して観察できる拡大内視鏡を用い、ポリープの種類を瞬時に選別・診断する。内視鏡治療は、術後の出血や腸管穿孔の合併症に対し、入院が必要とされるのが一般的だが、同院は、合併症に対してもさまざまな工夫や対策を講じている。院長自らが、合併症時に対応できる内視鏡治療器具を考案、2007年には米国や欧州の国際学会で発表し、国内外で高い評価を受けている。

表面型や陥凹型など発見困難な大腸がんは、10mm以下でも早い段階で粘膜下層へ浸潤するケースも多いため、早期発見・治療のため日夜努力する。